

# 2019年度環境保全報告書

## 関西グリコ株式会社

### ① 2019年度の重点取組目標・計画の実施状況

#### ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

CO<sub>2</sub>について、電力の省エネルギー、生産ラインの安定化などを通じて、排出量の削減、排出原単位の低減に努めています。当社ではCO<sub>2</sub>排出量前年比原単位1%削減を目標に取り組み、2019年度は目標を達成することが出来ませんでした。未達原因として生産ラインの変更・移管により製造高が減少した（2018年比94.9%）ことが挙げられます。

2020年度以降は目標が達成できるよう新たな工夫を行っていきます。

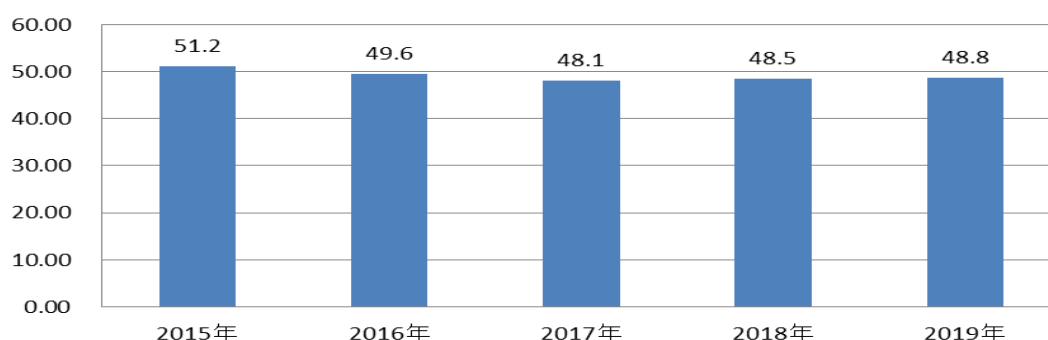
#### 工場CO<sub>2</sub>排出状況

項目		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
生産金額	(億円)	397.9	385.7	388.4	377.7	358.6
工場 CO <sub>2</sub> 排出量	電力購入(t-CO <sub>2</sub> )	10,683	9,890	9,595	9,519	9,766
	都市ガス(t-CO <sub>2</sub> )	9,684	9,242	9,070	8,796	7,723
	合計(t-CO <sub>2</sub> )	20,367	19,132	18,665	18,315	17,489
工場排出原単位(t-CO <sub>2</sub> /t)		51.2	49.6	48.1	48.5	48.8

#### 工場CO<sub>2</sub>排出量の推移(単位:t)



#### 工場排出原単位の推移(単位:CO<sub>2</sub>-t/億円)



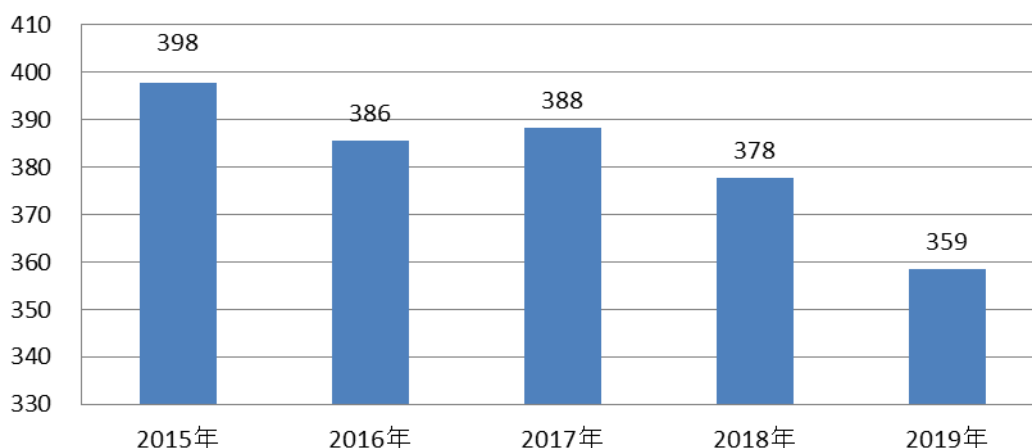
## イ. 省エネルギーの推進

ガス、電力、用水について、2019年度はガス、用水の総使用量及び原単位ともに前年度より減少しています。買電力は総使用量及び原単位ともに増加しています。増加の要因はコージェネレーション更新による自家発電の減少が挙げられます。2020年度以降は目標が達成できるよう活動を推進していきます。

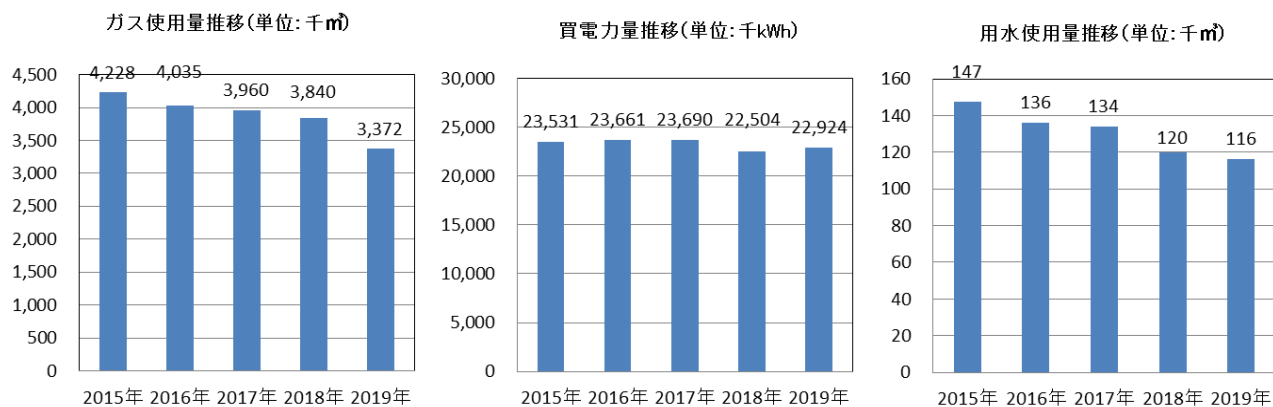
### ●エネルギー使用量・原単位

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
生産金額	(億円)	397.9	385.7	388.4	377.7	358.6
ガス	総量 (m <sup>3</sup> )	4,227,966	4,034,776	3,959,994	3,840,303	3,371,818
	原単位 (m <sup>3</sup> /億円)	10,626.0	10,460.9	10,196.4	10,168.1	9,402.9
電力	総量 (千kWh)	23,531	23,661	23,690	22,504	22,924
	原単位 (kWh/億円)	59,139.1	61,344.8	60,997.8	59,583.3	63,928.4
用水	総量 (m <sup>3</sup> )	147,269	136,200	133,907	120,092	116,123
	原単位 (m <sup>3</sup> /億円)	370.1	353.1	344.8	318.0	323.8

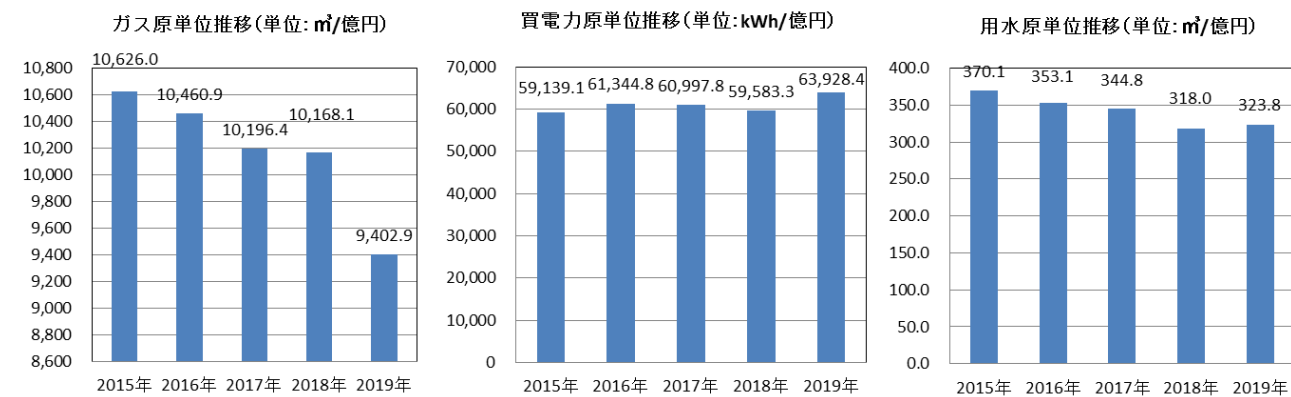
### 生産金額の推移(単位:億円)



### 使用量推移



## 原単位推移



② 公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
防大 止気 対汚 策染	ばい煙の排出規制の遵守	窒素酸化物、ばいじん濃度ともに前年度と同程度である。規制値範囲内であり、問題無し。	◆排ガス処理施設の適切な維持管理に努めるとともに、「排ガス中のばい煙濃度等測定計画」により、目標値の遵守状況を確認した。
防 水 止 対 汚 策濁	公共用水域の環境保全	pHは目標値を未達であったが、神戸市規制値範囲内のため問題無し。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出水の汚濁状態測定計画」及び「排出水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の遵守状況を確認した。
騒 音 防 止 策	法令等の基準の遵守	敷地境界線に於ける騒音の指示値が法規制の基準内であることが確認できた。	「騒音規制法」「兵庫県環境の保全と創造に関する条例」「神戸市民の環境を守る条例」の規制基準値の遵守状況を確認した。
悪 臭 防 止 策	法令等の基準の遵守	触媒槽の温度及び差圧、ダンパーの動作確認を実施し、異常がなかったことが確認できた。臭気測定を行い、基準値内であることを確認した。	燃焼等の脱臭装置の定期的な動作確認を行った。臭気測定を行い、基準値の順守状況を確認した。
産 業 廃 棄 物 対 策	法令等の規制を遵守	法令に定める産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守できた。	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」により、遵守状況を確認した。
	廃棄物の発生抑制・再利用	産業廃棄物排出総量としては 2018 年度に比べ、12.8%減少した。	産業廃棄物量の削減及び原材料ロス削減に取り組んだ。

イ. 2019年度 窒素酸化物濃度・ばいじん濃度の測定結果

	測定項目	単位	規制値	測定結果	全測定回数	法令基準達成判定
ブン ① ガ ス オ ー	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.20	0.005 未満	2回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	71,140	2回/年	○
ブン ② ガ ス オ ー	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.20	0.005 未満	2回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	90,120	2回/年	○
ガ ス タ ー ビ ン	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.05	0.005 未満	1回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	70	7.6	1回/年	○
ボ イ ラ	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.1	0.005 以下	1回/年	○
	NO <sub>x</sub>	ppm	150	30	1回/年	○

ガスタービンはコージェネ更新のため、2019年11月に撤去済。2020年報告より削除

	測定項目	単位	規制値	測定結果	全測定回数	法令基準達成判定
ジ ン ガ ス エ ン ジ ン	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.05	0.001 未満	1回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	600	190	1回/年	○
ジ ン ク エ ネ リ	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.20	0.01	1回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	31	1回/年	○

ガスエンジンは設置時測定値、ジェネリンクは定格値を記載

ウ. 2019年度 排水水の汚濁状態測定結果

排水口1カ所									
項目	管理目標値	測定値		全測定回数	測定回数	目標値を超過した	目標達成判定	法令基準達成判定	
		最大 (pHのみ 最少～最大)	平均						
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度 (pH)	5.8～8.2	5.7～6.9	6.3	10	1	×	○
	2	生物的酸素要求量 (BOD)	1,000mg/L 以下	950	482	10	0	○	○
	3	浮遊物物質 (SS)	2000mg/L 以下	160	76	10	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質	100mg/L 以下	83	39	10	0	○	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質 (鉍物油)	5 mg/L 以下	2	2 未満	10	0	○	○

単位はpHを除き、mg/l ND：定量下限値以下 ○：達成 ×：未達成  
pHの×は神戸市排水基準（5を超え9未満）内のため、問題無し

エ. 2019年度 敷地境界線上の臭気測定計画

測定箇所	規制基準	測定値 (最小～最大)	測定回数	法令基準 達成判定
敷地境界 6か所	臭気指数 18	10 未満～14	1回	○

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 2019年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数 CO <sub>2</sub>	合計 (CO <sub>2</sub> 換算)
					kg-CO <sub>2</sub> /MJ	kg-CO <sub>2</sub>		
燃料の使用	原料炭	—	kg	28.9	0.0867	—	—	—
	一般炭	—	kg	26.6	0.0906	—	—	—
	A重油	—	ℓ	39.1	0.0693	—	—	—
	B重油	—	ℓ	40.4	0.0705	—	—	—
	C重油	—	ℓ	41.7	0.0716	—	—	—
	LPG	—	kg	50.2	0.0598	—	—	—
	都市ガス	3,371,818	Nm <sup>3</sup>	45.0	0.0509	7,723,149	1	7,723,149
その他 (廃棄物等)	—	kg	42.3	0.0762	—	—	—	
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	26,182	kWh		0.352	9,216	1	9,216
	その他事業者	22,898,024	kWh		0.426 (0.442)	9,754,558 (10,120,927)	1	9,754,558 (10,120,927)
熱供給事業者から供給された熱の利用	—	—	MJ			—	—	—
合計	—	—	—	—	—	17,486,923 (17,853,292)	—	17,486,923 (17,835,292)

イ. 当該年度の計画達成状況

原単位：t-CO<sub>2</sub>/生産金額(億円)

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率 (%)	
	今年度 (2019年度)	2020年度	基準年度 (2005年度)	今年度 (2019年度)	今年度 (2019年度)	2020年度
二酸化炭素	43.71	43.27	78.58	43.82	56.2	56.7
メタン	—	—	—	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—	—	—	—
HFC	—	—	—	—	—	—
PFC	—	—	—	—	—	—
六フッ化硫黄	—	—	—	—	—	—
合計	43.71	43.27	78.58	43.82	56.2	56.7

特定物質排出抑制措置結果報告書及び計画書より、2020年度の計画変更あり

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

分野	具体的対策	削減目標	実施状況
エネルギーの使用の合理化	「生産ライン安定化」取組みによる廃棄物の削減	2018年原単位比 1%削減	未達成
	従業員啓発による廃棄物の分別及びリサイクル推進		
	水漏れ、エアール漏れ箇所調査と修理対応		
	エネルギーの見える化		
	空調設備(熱交換器)の定期洗浄、点検、清掃の実施		
	無人時の事務所、会議室、不使用設備周辺の消灯推進		
	照明のLED化		
	高効率機器への機器更新(冷凍機、コンプレッサー)		
	コージェネレーションシステム更新		
相互エコパトロールの実施			

特定物質排出抑制措置結果報告書及び計画書より、2020年度の計画変更あり

④ 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2019年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目		目標	実施状況
1	事業所等での節水	節水の呼びかけ 漏水等の早期発見	—	周知徹底	概ね実施
2	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別回収	—	周知徹底	概ね実施
		コピー用紙使用枚数削減	—	2017年比50%削減	50.5%削減
		原材料ロス削減	ロス削減	原材料ロス 目標達成	未達成
3	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具	90%	87.6%
		プリンター・カートリッジの再生利用	—	100%	100%
4	自動車対策	エコドライブ・アットリングストップの推進	—	徹底	概ね実施
		社有車、送迎バス性能維持の為の定期的な点検整備	—	徹底	概ね実施
		廃棄物回収車両の適正整備要請	—	該当業者	概ね実施
5	特定フロン等使用量の削減	設備更新時、特定フロン非使用設備を導入		全量	老朽更新、新設時に特定フロン非使用設備を導入
		特定フロン使用機器の適正廃棄	—	フロン回収の徹底	実施率100%
6	従業員教育	環境保全に関する従業員教育	—	1回/年	実施
		環境に係る各種教育、講習等の受講、実施、展示会の見学	—	周知徹底	概ね実施
7	地域社会への参画	エコキャップ参加	—	全従業員	17,052個回収
8	環境管理システムの充実	ISO14001の運用管理	—	継続	継続中
		内部監査の実施	—	1回/年	実施